

## 児童発達支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和6年 2月 1日

事業所名：多機能型事業所てらす

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。(アンケート実施時の契約者に配布し、回収率100%)

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			個別に訓練したり、集団で活動したり、静養したりするスペースをしっかりと分けている。利用時間も密にならないように時間をずらして、支援を行っている。	100%	0%	0%	0%	走り回るスペースがあると思います。	・国の指定基準を満たしたスペースを確保し、活動スペースとして提供している。
	2 職員の適切な配置	○				90%	0%	0%	10%	色々な経歴の方がいて心強い。	・国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置している。外遊びに行く際は、室内の職員、室外に行く職員を確保できている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				90%	10%	0%	0%	ロッカーや下駄箱が決まっていないため、迷うことがある。	・2月に森松に移転し、建物がバリアフリーになっている。共有のスペースは限られている為、可能な限り工夫して対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			朝夕の掃除、消毒、換気は徹底している。常に整理整頓に心がけている。子どもたちにも、来所時の検温、手洗いを行っており、手洗いの難しい子どもには、手指消毒を徹底している。	100%	0%	0%	0%	とてもキレイな施設だと思います。	継続して、心地よく過ごせるよう活動に合わせた生活空間の確保に努めていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)への職員の積極的 な参画	○			月に一度、児童発達・放課後等 デイサービスで個別支援会議 (ミーティング)を実施している。 参加できなかった職員には後日 伝え、情報共有を行っている。						継続して、積極的に参画してい く。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改 善の実施			○	第3者による外部評価は実施し ていないが、愛媛県からの指導 監査を受けている。						継続して、監査指導を基本に業 務改善に努めていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会 の確保	○			オンラインで研修を受けたり、施 設内での研修会などに参加して いる。						継続して研修会の企画、参加の 機会の確保に努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護 者のニーズや課題を客観的に分析した上 での児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画の作成	○			保護者の個別支援の希望アン ケートや直接話すことで、ニーズ の聞き取りを行い、アセスメント の評価表をつけている。個別支 援会議を開催し、話し合っ半年 ごとに個別支援目標を立ててい る。	80%	0%	0%	20%		継続して、支援しながら計画書 を作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デ イサービス計画における子どもの支援に必 要な項目の設定及び具体的な支援内容 の記載	○			支援内容や目標を全職員が支 援会議で考えて作成し、内容は 支援会議や終礼などで共有して いる。	100%	0%	0%	0%	事前に聞いてもらって我が子の どういうところを直したいか伝え ているのでできていると思いま す。	継続して、項目を設定し記載す ることで、情報共有していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせた児童発達支援 又は放課後等デイサービス計画の作成	○			個別活動として、ST訓練や制作 などを取り入れ、小集団での ルールある遊び(ボーリング、椅 子取りゲーム)などを計画、実施 している。						継続して子どもの状況に応じて 計画書を作成していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
適切な支援の提供 (続き)	4	○			個別支援計画に沿った個別支援会議を実施している。	100%	0%	0%	0%		継続して、適切な支援を行っていく。	
	5	○			個別訓練と調整しながら、活動のプログラムの立案を行っている。	/	/	/	/		継続して、チーム全体で立案していく。	
	6	○			個人のカルテや過去の計画を見ながら、曜日によって、活動が固定しないように調整している。	70%	10%	0%	20%	放デイの方がいろいろな活動があって楽しそう。	計画された活動プログラムに沿って引き続き、支援を行っていくが、その日のメンバーや人数によって、活動内容は工夫利して行っていく。	
	7	○			休日、長期休暇は、営業を行っていない。平日には、個別の訓練や遊びの中で運動の訓練を行い、制作活動で個々に作品作りをしている。	/	/	/	/		継続してきめ細やかな支援を行っていく。	
	8	○			朝礼に参加できなかった職員には、個別に声掛けをしている。	/	/	/	/		継続して、確認の徹底に努めていく。	
	9	○			終礼を行い、日報を作成している。	/	/	/	/		継続して、情報の共有化に努めていく。	
	10	○			日々のカルテに利用者の様子を書くことで、今後の支援に生かしている。また、モニタリングでも相談員に話をする材料にしている。	/	/	/	/		継続して、記録の徹底、支援の懸賞・改善に努めていく。	
	11	○			支援会議で話し合いをして、月に一度の個別支援計画の進捗のチェックを行っている。	/	/	/	/		継続して、計画の見直しを意識して支援につなげていく。	
	関係機関と	1	○			児童発達支援は支援会議がある場合は参加している。保護者の希望があれば、通われている園の様子を見に行き、当施設にも来てもらい支援についての助言を行うことはある。	/	/	/	/		継続して、会議の参画に努めていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
の連携	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施				現在のところ医療ケアを利用されている方がいない。					当施設の中に、「重症心身障がい児・医療的ケア児 てらすアルファ」を6月より立ち上げたので、そちらで対応していく。	
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備				現在のところ医療ケアを利用されている方がいない。					当施設の中に、「重症心身障がい児・医療的ケア児 てらすアルファ」を7月より立ち上げたので、そちらで対応していく。	
関係機関との連携（続き）	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○			直接お迎えの際などに会って話をしたり、電話をしたり、文書にて連絡調整を行っている。					継続して、関係機関と情報共有していく。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○			希望があれば、引き継ぎ書を作成している。					継続して、関係機関と情報共有していく。	
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○			当施設を利用されている方で、来年度より児童発達支援センター等を利用される場合に、引き継ぎ書を作成したり、今までの様子などをお話しさせてもらったりしている。研修会へはZOOMなども活用し、積極的に参加している。					継続して、研修の受講を促進していく。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		50%	20%	0%	30%	保育園へ通っているため、児発で何かを交流ではないのかなど。	特別どこかの施設などとは交流していないが、それぞれの子どもが通われている園に対しては、希望のあるご家庭の場合は、園との情報交換を行ったり、実際の園の様子を見に行ったりしているので、これを継続していく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			○	訓練を療育の中で行っているため、実際のところ地域に向けた事業まで中々手が回すことは難しい。						継続して、検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○			契約の際に説明をし、変更があった場合はその都度文書で伝えている。利用時にかかった料金は明細を発行して、保護者に確認をしてもらっている。	100%	0%	0%	0%		継続して、丁寧な説明を行っていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○			事前相談と書類引き渡し時に詳細な説明は可能な限り行っている。	100%	0%	0%	0%		継続して、丁寧な説明を行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○			ペアレント・トレーニングの講習会に参加し、日々の保護者支援に役立っている。	90%	10%	0%	0%	こうしたらいいとアドバイスをもらって助かっている。自宅での問題行動の対処はわからないことがある。	直接、ペアレント・トレーニングは取り組んでいないが、自宅や園、当施設で見られた気になる行動などについて話をし、当施設で行った支援など助言ができることがあれば、積極的に話していく。
保護者への	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○			気になることがあった場合は、直接話をして伝えている。	100%	0%	0%	0%	いつも近況を聞いてもらうので、こちらも話しやすい。どんな活動をしてどんな様子が教えてくれるので助かります。	継続して、情報理解していただけるよう徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			直接話をするなどして、助言や支援を行っている。	90%	10%	0%	0%	送迎の時間だけだと少し短いので、半年に1度くらい話し合いがあればと思う。	随時、相談を受け付けている。今後も相談しやすい雰囲気作り等に配慮していく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○		20%	10%	20%	50%	送迎のみで会うだけでわからない。	希望があれば検討するが、保護者が必要性を感じていない状況である。希望者が出てくれば検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
説明責任・連携支援 (続き)	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			要望・苦情があれば、職員間で問題点や原因と結果の因果関係を検討し、必要ならばマニュアルを作り、必ずミーティングなどで職員間でやり方を共有している。対応の方針が固まれば、謝罪して今後の方針を説明している。できるだけ、迅速に対応するよう努めている。	60%	0%	0%	40%	その場面がないためわからない。	苦情については第三者委員会を設置している事、苦情窓口の職員等の説明を契約時にしている。普段から意見や要望などを言いやすい雰囲気作りにも努めている。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○			視覚支援(絵カードやホワイトボード、顔写真等)を用いての情報伝達を行っている。	100%	0%	0%	0%		継続して、配慮していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			直接お迎えに来ていただき直接どのような支援をしたか、どういう様子だったかなど話をしている。活動の様子等SNS(Facebook)にて発信している。	50%	10%	0%	40%	その発信をしているかを知らない。	著作権の問題より、投稿されたくない方も居るので、可能な限り発信していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			契約時に個人情報の取り扱いについて説明をし、取り扱いについては管理の徹底に努めている。	100%	0%	0%	0%		契約時に個人情報の取り扱いについてアンケートを行っている。
非常時等の	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○				90%	0%	0%	10%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSで避難訓練の様子は発信していく。</li> <li>・避難場所は南第二中学校となっている。</li> <li>・同建物内の生活介護と就労移行支援と共有の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、非常災害対策計画を策定して職員間で共有している。今後、出入り口付近に回覧できる様に掲示していく。</li> <li>・看護師が常勤しており、重心の利用者の方がいるため、学校や家庭にて、感染症が発生した際には、電話にて情報収集をしている。</li> </ul>

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
対応	2		○			70%	10%	0%	20%	場面を見ていないためわからない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設としては、1年に2回の消防訓練は実施している。児童発達支援の利用時間が消防訓練に時間帯と合致しないことが多々あったので、参加できるよう検討していく。</li> <li>契約時に重要事項説明書にて、防災計画を作成し、計画通り実施していることをお伝えしている。また、実際のマニュアルは、当施設の出入口にてラミネートしていつでも観覧できるようにしていく。</li> </ul>
非常時等の対応 (続き)	3	○			虐待防止に関する研修会を定期的に開催し、適切な対応を心がけている。						継続して、研修等を計画していく。
	4	○			身体拘束に関しては、基本行わないことを説明し、一人で建物から外に出してしまう恐れのある子どもがいるときは玄関のドアの鍵を閉めさせてもらうことを契約時に説明している。						継続して、事前説明を行うとともに計画書に記載して周知していく。
	5	○			児童発達支援は基本持参したお茶を飲む程度で、食べることはないが、こどもの状況は把握しておく。						継続して、適切な対応をしていく。
	6	○			作成した後は、朝礼や終礼で発表し、職員間で情報共有するとともに、再発防止に努めている。						継続して、事例等を作成し、共有して徹底していく。